



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

活動報告とご案内 2021~2022



ごあいさつ

セブン-イレブン記念財団は、1993年11月、(株)セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金をもとに、「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の4つの事業領域を設け活動しています。

2021年も新型コロナウイルス感染症の影響や経済社会構造の変化により、人々の生活に対する価値観は大きく変化しました。

そして気候変動の深刻な影響を受ける中、CO₂削減など持続可能な開発に向けて、“環境保護”を通じた積極的な取り組みも今、我々に求められています。

2021年は環境省及び一般社団法人環境パートナーシップ会議と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結しました。この締結により、セブン-イレブン記念財団は、「セブンの森」づくりを通じ、産官学民が一体となって地域循環共生圏（ローカルSDGs）を日本全国に拡大していくことを目指します。

また、自然の大切さを学べる生涯学習の場を提供するため、大分県このえまち玖珠郡九重町で「くじゅう九重ふるさと自然学校」を、東京都八王子市川町の所有地で東京都と協働して「高尾の森自然学校」を運営し、年間を通じたさまざまなプログラムを開催しています。

セブン-イレブン記念財団は、これからも環境市民団体やセブン-イレブン加盟店およびセブン-イレブン本部と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。

皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

理事長 山本 憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー）



お客様の募金は、環境をテーマにした 社会貢献活動に活かされています。

募金の流れと事業図



店頭募金箱に寄せられた
お客様からの募金



「マッチングギフト制度」による
セブン-イレブン本部からの
寄付金

2021年度

募金額 4億3680万9753円
店舗数 21,327店(2022年2月末日現在)
累計募金額 87億9325万8928円
(1994年度～2021年度)

- 個人や企業・団体の皆様からの寄付金・募金
 - (株)セブン銀行 (株)セブン・カードサービス
 - (株)クオカード
 - 電子マネー nanacoのポイント募金
 - セブン銀行ATMを利用した募金
 - 他多数

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

加盟店オーナー代表

セブン-イレブン本部代表

環境市民活動支援事業

- 環境市民活動助成
- NPO基盤強化支援
- 環境NPOリーダー支援
- 地域の環境美化活動支援

自然環境保護・保全事業

- 森林の保護・保全活動
- 生物多様性保全活動
- 高尾の森自然学校
- 九重ふるさと自然学校

環境をテーマにした 社会貢献活動

災害復興支援事業

- 東日本大震災復興支援
- 自然災害復興活動
- 義援金募金活動

広報事業

- 環境イベント支援
- 広報誌『みどりの風』
- ホームページ

セブン-イレブン記念財団の「28年のあゆみ」

※団体名は現在の名称です。※セブンの森の一覧は、14ページをご覧ください。



1993年(平成5年)

11月 ▶ セブン-イレブンみどりの基金設立

1994年(平成6年)

- 2月 ▶ 全国5,300店のセブン-イレブンに各店1個の募金箱を設置
- 3月 ▶ (財)国立公園協会「自然公園快適環境づくり助成事業」開始
 - ▶ 富士山地域美化推進事業・尾瀬地区への特別助成開始
 - ▶ (財)都市緑化基金「緑と花のスポットガーデン助成事業」開始
 - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日・カントリー大作戦」に助成開始

1995年(平成7年)

- 1月 ▶ (財)日本グラウンドワーク協会を通じた一般公募助成制度開始
- 3月 ▶ 「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」協賛開始



1996年度活動報告書

1996年(平成8年)

- 8月 ▶ 「活動報告書」「活動報告ビデオ」制作開始
 - ▶ 神奈川県鎌倉市「若宮大路グリーン・クリーン運動」へ活動助成開始
 - ▶ 九州地区「ラブアース・クリーンアップ」へ活動助成開始

1997年(平成9年)

- 5月 ▶ 「札幌大通公園花壇」出展

1998年(平成10年)

- 8月 ▶ 「富士山地域の清掃活動」に(株)セブン-イレブン・ジャパン社員参加、以降毎年継続
 - ▶ 募金箱をリニューアルし、2個に増設

1999年(平成11年)

- 7月 ▶ 「北海道森林マラソン(現:北海道森林スポーツフェスタ)」への特別協賛開始(第2回)

2000年(平成12年)

- 4月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブを通じ、「富士山環境保全支援プラン」助成開始
- 7月 ▶ ホームページ開設
 - ▶ 「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」に軍手提供
 - ▶ 「びわ湖滋賀県下一斉清掃活動」に軍手提供
- 10月 ▶ 「日光杉並木オーナー制度」に加入し杉並木保護・保全活動開始
 - ▶ 林野庁と「巨樹・巨木保護活動」を推進



富士山山頂バイオトイレ
杉チップ投入

2001年(平成13年)

- 4月 ▶ 「環境市民ボランティア活動助成制度(現:環境市民活動助成制度)」開始
- 8月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブの富士山山頂バイオトイレ設置事業を支援

2002年(平成14年)

- 2月 ▶ 「環境ボランティアリーダー海外研修制度(現:環境NPOリーダー海外研修制度)」開始
- 8月 ▶ 「ボランティアスタッフ制度」運用開始
- 10月 ▶ 広島市内4カ所に「パートナー花壇」出展
 - ▶ (財)都市緑化基金より都市緑化功労者として感謝状を授与される
- 11月 ▶ 「九州森林マラソン(現:九州森林スポーツフェスタ)」特別協賛開始(第1回)
- 12月 ▶ 「霧多布湿原保全活動」として北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、湿原150haの保護・保全活動開始



2002年2月
第1回海外研修オーストラリア

2003年(平成15年)

- 4月 ▶ BSハイビジョン放送で環境市民ボランティア団体紹介番組を提供
 - ▶ (株)セブン-イレブン・ジャパンビル内にみどりの基金事務局開設
- 7月 ▶ 環境市民ボランティア団体7団体とパートナーシップ協定締結
- 12月 ▶ 「北海道学生環境ボランティア支援制度」開始



広報誌「みどりの風」創刊号

2004年(平成16年)

- 5月 ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟より特別感謝章を授与される
 - ▶ 「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」への支援開始

2005年(平成17年)

- 3月 ▶ 広報誌「みどりの風」創刊
- 4月 ▶ 会報「みどりの基金だより」創刊
- 5月 ▶ 「自然環境保護・保全活動にかかる調査研究助成」開始
- 6月 ▶ 「日独ファンドレイジング(資金調達)・シンポジウム」を名古屋市で開催
- 8月 ▶ 「トキこども大使」を新潟県佐渡島に派遣開始



トキこども大使



2006年9月17日第1回のメインデーには1,225名の市民が参加

2006年(平成18年)

- 5月 ▶ (株)セブン・カードサービスのポイントチャリティ開始
- 9月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」開始

2007年(平成19年)

- 4月 ▶ 「九重ふるさと自然学校」開校
- 8月 ▶ (公財)日光杉並木保護財団より感謝状を授与される
- 12月 ▶ 「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2007年4月21日九重ふるさと自然学校開校



2008年11月1日第1回「三宅島緑化プロジェクト」

2008年(平成20年)

- 11月 ▶ 「三宅島緑化プロジェクト」開始

2009年(平成21年)

- 5月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の活動に対し、「国民の森林づくり推進功労者」として林野庁長官より感謝状を授与される
- 8月 ▶ 「学校の森・子どもサミット」に協賛開始(第3回四国)

2010年(平成22年)

- 2月 ▶ 東京都と「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を締結
- 3月 ▶ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立
- 5月 ▶ 国連の生物多様性条約事務局の「グリーンウェイブ」に苗木提供開始



2010年2月17日「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定締結式

2011年(平成23年)

- 6月 ▶ 「東京湾再生アマモプロジェクト」開始
 - ▶ 「東日本大震災復興プロジェクト」開始
- 10月 ▶ 「脱炭素チャレンジカップ(旧名称:低炭素杯)」共催開始(「低炭素杯2012」より共催)
- 11月 ▶ 「里地里山プロジェクト」開始
 - ▶ (株)セブン・カードサービスの「nanacoポイント募金」開始



2011年6月11日第1回「東日本大震災復興プロジェクト」

2012年(平成24年)

- 3月 ▶ 「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」開始
 - ▶ 「森林保全プロジェクト」開始
 - ▶ 森林の再生「千葉セブンの森」づくり開始

2013年(平成25年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校と学校法人文理学園日本文理大学が「学生のボランティア活動およびインターンシップ推進に関する協定」を締結
- 5月 ▶ 東京都立日比谷公園で開催する「森と花の祭典-みどりの感謝祭」に出展開始(第13回)
 - ▶ 「生物多様性アクション大賞」共催開始(第1回)
- 11月 ▶ 「東京湾再生官民連携フォーラム」に協力
 - ▶ 20周年記念誌「わたしの里山物語」発行



20周年記念誌
「わたしの里山物語」発行

2014年(平成26年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校の「生きもの育む自然共生型田んぼづくり」が、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定
- 6月 ▶ 東京都と「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結
- 7月 ▶ 「セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を設置開始



2015年4月10日
高尾の森自然学校開校

2015年(平成27年)

- 4月 ▶ 高尾の森自然学校開校
 - ▶ 「森のようちえん全国交流フォーラム」特別協賛開始(第11回)
- 11月 ▶ 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)より感謝状を授与される

2016年(平成28年)

- 4月 ▶ 東日本大震災復興プロジェクトとして、「宮城セブンの森」づくり開始

2017年(平成29年)



2017年7月21日 海事関係功労者
表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰

- 5月 ▶ ホームページのスマートフォン対応開始
- 7月 ▶ 海事関係功労者表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰
- 10月 ▶ (一財)みなと総合研究財団主催「東京湾海の環境再生賞」の「国土交通大臣賞」を授与される
 - ▶ 森林整備・保全活動「長野セブンの森」づくり開始
- 11月 ▶ 森林整備・保全活動「福井セブンの森」づくり開始

2018年(平成30年)



2018年6月1日「阪南セブンの海の森」
大阪府阪南市と調印

- 5月 ▶ (株)セブン・ペイメントサービスのセブン銀行ATM「現金受取サービス」募金開始
- 6月 ▶ 海の再生「阪南セブンの海の森」づくり開始
 - ▶ 河畔林の再生「茨城セブンの森」づくり開始
- 9月 ▶ 湿原の保全「霧多布セブンの森」づくり開始
- 12月 ▶ 25周年記念誌「『江戸しぐさ』に学ぶ おもてなしのこころ」発行

2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ▶ 狭小店舗用の募金箱設置
- 10月 ▶ 「環境市民活動助成」PDFフォームでの申請受付開始
- 11月 ▶ 琵琶湖の湖保全活動「滋賀セブンの森」づくり開始

2020年(令和2年)

- 3月 ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う、環境市民活動助成特別措置の実施
- 4月 ▶ 森林整備・保全活動「山梨セブンの森」づくり開始
- 6月 ▶ セブンマイルプログラム「貯まったマイルを寄付」開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」ご案内ビデオ制作
 - ▶ 「環境市民活動助成」助成金セミナーオンライン開催
- 10月 ▶ 松島湾復興支援活動「塩竈セブンの海の森」づくり開始(7月協定締結)
- 11月 ▶ 「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」協賛開始(第1回)
 - ▶ 九重ふるさと自然学校が「青少年の健全育成に尽力」していることを認められ、大分県知事より感謝状、大分県青少年育成県民会議より表彰状を授与される



「『江戸しぐさ』に学ぶ
おもてなしのこころ」発行

2021年(令和3年)

- 2月 ▶ 森林整備・保全活動「三重セブンの森」づくり開始(協定更新)
- 3月 ▶ 環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の3者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結
 - ▶ 海と森林の再生「館山セブンの海の森」づくり開始
 - ▶ (株)セブン・グローバルレミットが提供する海外送金サービス「Sandy」からの募金開始
- 5月 ▶ NPO法人 海辺つくり研究会と「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業基本協定」を締結
- 9月 ▶ 草原の保全「大分セブンの森」づくり開始(6月協定締結)



2021年3月24日
「館山セブンの海の森」協定式記念写真



日本経済新聞(2021年7月7日)掲載

- 7月 ▶ セブン-イレブン記念財団のホームページリニューアルを実施
 - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」
“セブンの森、セブンの海の森”を日本経済新聞(7月7日)に掲載
 - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」
“セブンの森、セブンの海の森”のテレビCM放映
 - ▶ セブン-イレブン店舗にあるセブン銀行ATMからの募金開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」WEBシステムでの申請受付開始
- 10月 ▶ 海の再生「青森セブンの海の森」づくり開始
 - ▶ 阪南セブンの海の森活動が、「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状を授与される
- 12月 ▶ セブンイレブンのサスティナブルギフトからの寄付開始



2021年10月9日
「青森セブンの海の森」協定式記念写真

TOPIX 「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業」基本協定 締結

2021年5月17日(日)、セブン-イレブン記念財団はNPO法人海辺つくり研究会と「共通の理念・相互信頼」のパートナーシップ精神のもと、「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業」を行うにあたり、基本協定を締結しました。

沿岸域の環境問題という負の遺産を子孫に残さないために、両者が協力して以下の「海辺をつくる・いかす・つなぐ」事業を実践していきます。

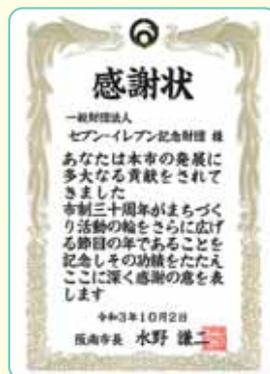


協定式記念写真

TOPIX 「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状をいただきました。

2021年10月2日(土)、セブン-イレブン記念財団は大阪府阪南市より市制30周年がまちづくり活動の輪をさらに広げる節目の年であることを記念し、当財団の自主活動である「阪南セブンの海の森」に対し、感謝状をいただきました。

「阪南セブンの海の森」は2018年より活動を開始し、2021年度までで7回の活動を実施しています。



感謝状



阪南市 水野市長とセブン-イレブン記念財団 関西地区 佐藤理事



地域に根ざした環境市民活動を支援

セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動をさまざまな角度から支援しています。



和村ソフトボールクラブ (岩手県)

環境市民活動助成

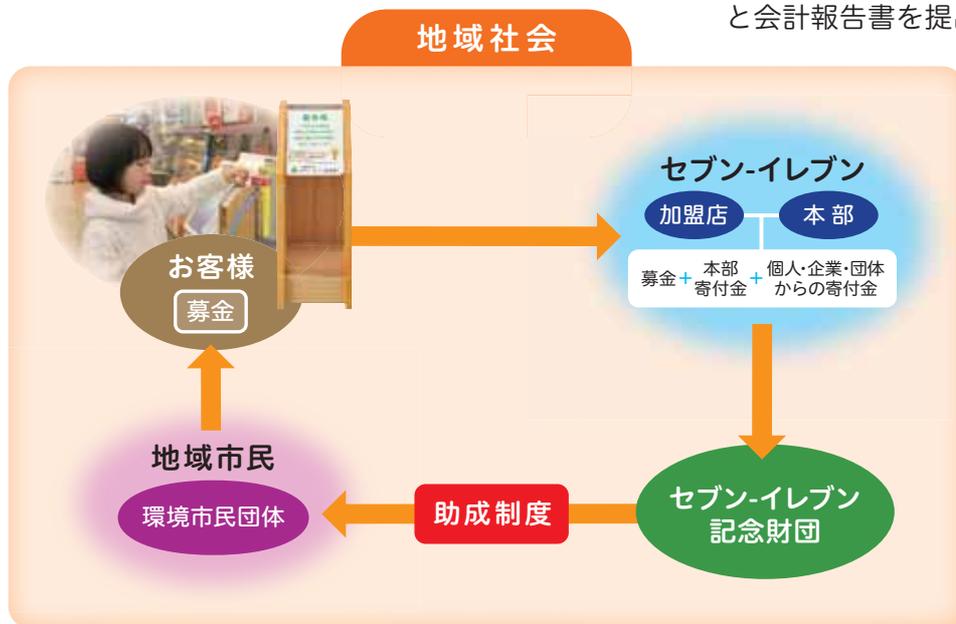
お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する、市民参加型の社会貢献活動です。

環境市民活動支援事業の大きな柱は、公募制の「環境市民活動助成」です。日本全国のセブン-イレブン店頭募金箱にお客様から寄せられた募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、活動を支援しています。

「環境市民活動助成」は、2001年に日本国内の団体および活動を助成対象として開始しました。助成

先を全国から公募し、助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、それぞれの活動分野を審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の2度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成先団体を決定しています。

助成先には、安心して活動できるように年度初めに助成金をお振り込みし、活動終了後に活動報告書と会計報告書を提出いただいています。



2022年度 環境市民活動助成パンフレット

助成の種類 (2021年度)	助成の趣旨と特徴	助成の種類 (2021年度)	助成の趣旨と特徴
設立25周年記念 2019年度限定 山の森・海の森 づくり助成 (3年目)	「CO ₂ 削減」と「豊かな自然環境の再生」を推進する活動に、直接必要な経費を原則5年間継続して支援します。	NPO基盤強化助成	持続可能な活動を実現する自主事業の構築・確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。
活動助成	自然環境保護など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。	花と緑の助成	緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。
		清掃助成	ごみのない環境をつくる活動を1年間支援します。

NPO基盤強化支援

地域の環境市民団体のネットワーク活動を支援しています。

全国各地でたくさんのボランティア団体や個人が環境保護・保全活動をしています。そうした小さな活動を個々の活動にとどめずに、ネットワークの中で「人・もの・資金・情報・ノウハウ・マネジメント・専門性」を相互に交流させ



近畿エリアの対面オンライン講座支援

ば、それぞれの活動基盤を強化することができます。

セブン-イレブン記念財団は、北海道、東海、近畿で地域のネットワーク活動をしている組織の事務局運営を設立準備から継続して支援しています。

また、助成金セミナーや情報交流会を共催しています。



助成金セミナーオンライン開催

環境NPOリーダー支援

環境市民活動を実践するリーダーを支援しています。



活動現場を視察

2002年から環境NPOで活動するリーダーの個人支援として、公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施しています。この研修制度は、海外の環境NPOで学んだ組織運営や活動技術、情報や経験、ノウハウを、帰国後に日本各地の活動現場で活かすことを目的としています。研修生は書類審査・面接審査を経て決定しています。

また、研修生の有志が結成した一般社団法人日本環境NPOネットワークの運営を支援すると共に、同NPOと「日本環境NPOネットワーク会議」を共催し、情報の交換や共有を図り、環境NPOリーダー間のネットワークを広げています。

※2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

地域の環境美化活動支援

「スカウトの日」の活動を支援しています。

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気付き自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。

(公財)ボーイスカウト日本連盟が毎年9月の敬老の日(第三月曜日)に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。

「スカウトの日」の累計結果 (1994年～2021年)

参加団数	32,488団
参加人数	1,328,974名
回収した空き缶	7,452,250本
回収したペットボトル	643,851本



「スカウトの日」の活動

日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

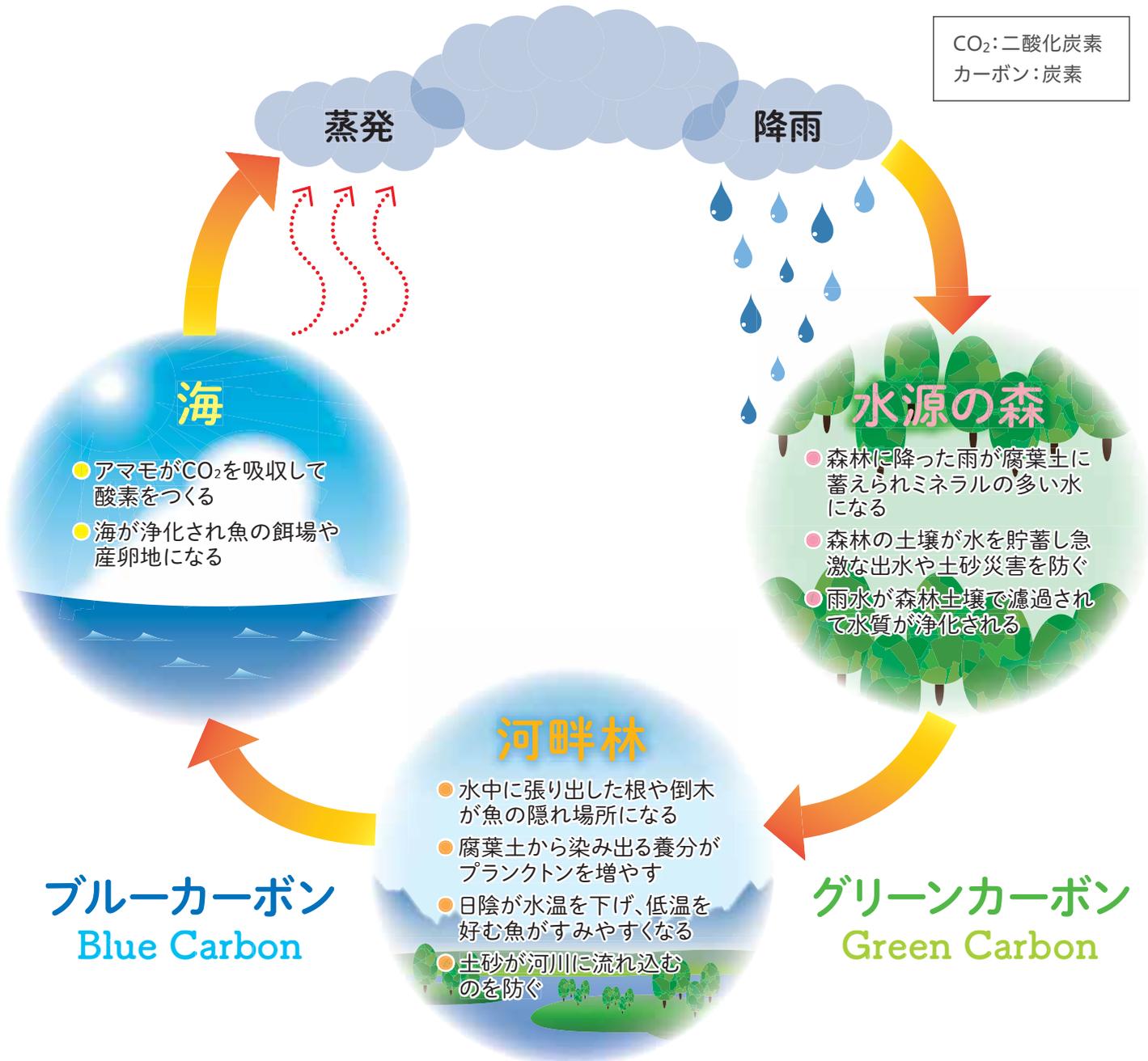
日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。



セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO₂削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。



森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活動を行い、健全な森をつくることです。2006年にスタートさせて以来、全国で森・海・湖・湿原・草原などさまざまな「セブンの森」づくりに取り組んでいます。



「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」集合写真

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭を設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につながっています。



「宮城セブンの森」補植作業



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO₂を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。

現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾で阪南セブンの海の森、松島湾で



アマモの種

塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、陸奥湾で青森セブンの海の森の5カ所で活動しています。



「東京湾UMIプロジェクト」集合写真

環境省との協定締結

2021年3月12日(金)にセブン-イレブン記念財団は、環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の3者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定書」を締結しました。



環境省協定式写真

〈協定の概要〉

目的 三者が協力し、地域社会の持続的な発展に寄与すること

- 協力内容**
- ① 環境保全活動及び環境の保全に関する協働取り組みに関する事項
 - ② SDGs達成に向けた取り組みに関する事項
 - ③ その他、本協定の目的に資する事項とし、具体的な協力事項は別途、三者で協議して定めるものとする

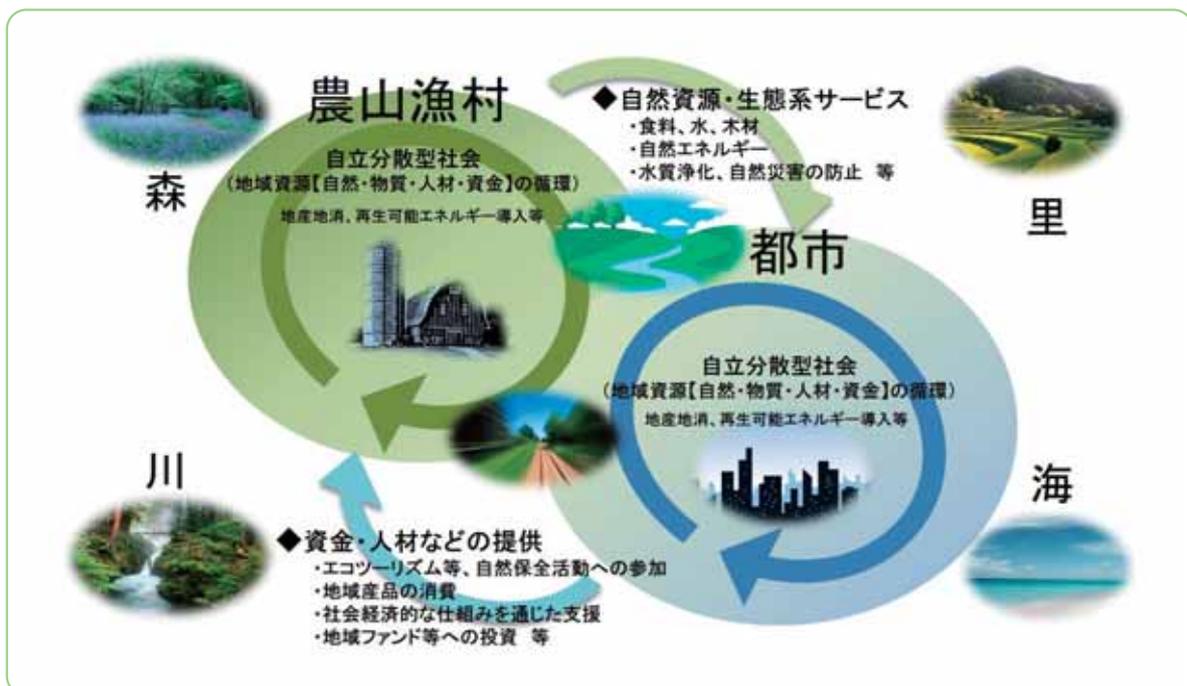
- 協力活動** 本協定に基づき、三者で協議会を立ち上げ、以下について実施してまいります
- 地域循環共生圏(ローカルSDGs)についての普及啓発、多様な主体の参画を推進する
 - 地域循環共生圏(ローカルSDGs)の各地域での取組事例など情報発信を行う
 - 各地域の環境保全活動の支援者間及び実施者とのパートナーシップ形成支援
 - 助成等各種支援に関する情報発信を実施する

地域循環共生圏(ローカルSDGs)

～地産地消で人・もの・お金・想いを循環させ、強い地域づくりを～

“地域循環共生圏”とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環

し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方であり、地域でのSDGsの実践(ローカルSDGs)を目指すものです。



地域循環共生圏「地域の活性化・持続可能な地域」 出典：環境省

「環境省ローカルSDGs」企業等登録制度

セブン-イレブン記念財団は、環境省ローカルSDGsの理念に賛同し、「環境省ローカルSDGs」企業等登録制度に登録いたしました。

セブン-イレブン記念財団は、「人と自然」「人と人」「人と社会」を深く繋げ、今ある資源を最大限に活用し更なる価値を生み出すことで、地域の市民団体が新しい社会の担い手として活躍し、人と自然が共生する持続可能な循環型社会を目指しています。

「環境省ローカルSDGs」企業等登録制度とは

この制度は、地域の構想づくりやローカルSDGs（地域循環共生圏）ビジネスの実現に向けた知見や技術の提供、実践地域との交流、企業同士の学びあいやネットワークづくり、環境省や他省庁との意見交換などの機会を提供させていただくための登録制度です。（環境省ホームページより）

「環境省ローカルSDGs」実践地域

セブン-イレブン記念財団の自然環境保護・保全事業である「セブンの森」にて、共に活動している学校や行政が環境省ローカルSDGs実践地域に登録されています。



「茨城セブンの森」ホテル観察小屋づくり

茨城セブンの森 水戸英宏幼小中（学校法人緑丘学園）



ホテル観察小屋づくり 資材運び



観察道づくり 廃タタミ敷き詰め作業

茨城県水戸市の水戸英宏小学校・中学校との出会いをきっかけに、初めての河畔林を再生する「茨城セブンの森」活動を千波湖周辺で2018年から開始しました。セブン-イレブン記念財団は、茨城県、ホテルネットワークmitoと10年間の協定を結び、桜川緑地の県有地を「茨城セブンの森」として、水戸市や地域の方々と一緒にホテルが舞う河畔林環境の再生に貢献し、地域の発展に向け活動を支援しています。

阪南セブンの海の森 阪南市

大阪府阪南市は、豊かな地域資源を活用し地域が支え合う「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しない」持続可能な協働・共創のまちづくりを目指しています。

セブン-イレブン記念財団は、水質浄化やCO₂を削減する効果があるアマモを増やし、豊かな海に再生する活動に取り組むと共に、地元市民団体、漁協組合、教育機関、行政等が連携して行う体験型の自然再生・保全活動「阪南セブンの海の森」活動を支援しています。



アマモ採取



海岸清掃活動

「セブンの森」づくり一覧 (全28ヶ所、うち終了11ヶ所)

2022年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度～2021年度)

活動回数	217回
加盟店と本部社員参加人数	13,712名
一般参加人数	5,735名
参加者数合計	19,447名

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	480.8ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲淵	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原

面積合計 1768.4 ha

日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



「霧多布セブンの森」集合写真



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地
(撮影：ノーザンフォト 北村康春)

取得面積 **480.8ha** (2022年2月末日現在)

琵琶湖保全活動

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。



湖岸清掃活動



ゴミ分別の様子



「滋賀セブンの森」集合写真



集合写真

富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団富士山保全活動」を主催し、認定NPO法人富士山クラブの協力を得て山梨県側と静岡県側を交互に清掃や外来種駆除などを行っています。

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



スタッフ集合写真

くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草原性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

また九重町教育委員会や地域団体と連携し、自然体験を通じて、子どもたちのふるさとを愛する心を育む環境学習に取り組んでいます。



体験プログラム 田んぼの生きものさがし



体験プログラム 稲刈り

大分セブンの森



協定式記念写真

2021年6月17日(木)飯田高原^{はんだ}一帯の環境を守ろうと大分県、九重町、飯田高原野焼実行委員会、セブン-イレブン記念財団の四者が「大分セブンの森」整備・保全に関する協定を締結しました。



集合写真

「セブンの森」として“草原”が対象となったのは初めてであり、草原の大切さや豊かさをたくさんの人たちに知っていただくため、地域の人たちと共に活動を進めてまいります。

高尾セブンの森



階段作り杭打ち作業



下刈り作業

高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施しています。また森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。

2021年までに、計28回延べ1,150名の方と共に森林整備を行って参りました。

高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2015年4月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また、東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

管理棟で受付を済ませればどなたでも自由に来館できます。森の中の散策路や遊具で自由に遊ぶこともでき、季節によって様々な生き物や植物を観察することができます。

また週末には、様々なプログラムやボランティア活動を行っています。都心に近い立地を生かし、保育園、小学校、中学校、高校、企業の自然体験活動や自然観察会の受け入れもを行っています。



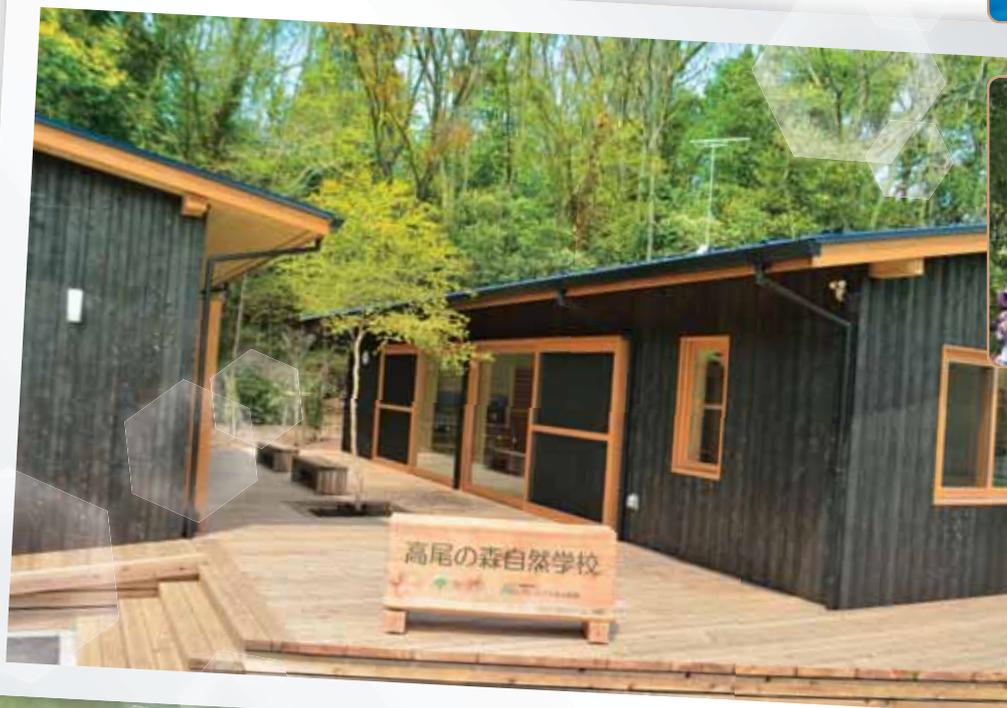
スタッフ集合写真



体験プログラム しめ飾りづくり



体験プログラム 野鳥観察



自然のすばらしさを体験し、 環境を考える機会を提供

私たちを取り巻く自然環境の大切さに気づき、その問題について関心を持ち、身近なところから取り組みを始めていただくための広報活動を行っています。



脱炭素
チャレンジカップ2022
(オンライン開催)

環境イベント支援

森林スポーツフェスタ

森林の中で行われるエコスポーツを通して、森の恵みやすばらしさを体感する「北海道森林スポーツフェスタ」に1999年の第2回より特別協賛しています。

全国アマモサミットと 海辺の自然再生・高校生サミット

「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。

2008年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催されています。

海的环境改善などをテーマにした「全国アマモサミット」と、その中で、全国の高校生たちがアマモを中心とした海に関する研究発表をする「海辺の自然再生・高校生サミット」の開催を第1回から支援しています。



「全国アマモサミット2021 in 青森」

脱炭素チャレンジカップ (旧:低炭素杯)

日本全国、多様な主体が取り組む脱炭素化に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出するしくみと場である「脱炭素チャレンジカップ」を(一社)地球温暖化防止全国ネットと2012年から共催しています。



セブン-イレブン記念財団・最優秀地域活性化賞受賞・京都府立桂高等学校「京の伝統野菜を守る研究班」の皆さん

森のようちえん全国交流フォーラム

森の中を学びの場として、子どもの主体性を重んじた保育を行う森のようちえん活動の関係者が集い、情報交換をするフォーラムに2015年の第11回より特別協賛しています。



第16回森のようちえん
全国交流フォーラム in 奈良

広報誌『みどりの風』

「人と自然」「自然環境と地域社会」をテーマにした広報誌『みどりの風』を年4回発行しています。





被災地の自然を 復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。



「塩竈セブンの海の森」
集合写真

塩竈セブンの海の森

塩竈セブンの海の森

震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会を提供するため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再

生会議と一般財団法人セブン-イレブン記念財団の三者で2020年7月に協定を締結しました。塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や保全活動を実施し、地域の活性化につなげています。



アマモの種子選別作業



アマモの種子を苗床に植えている様子



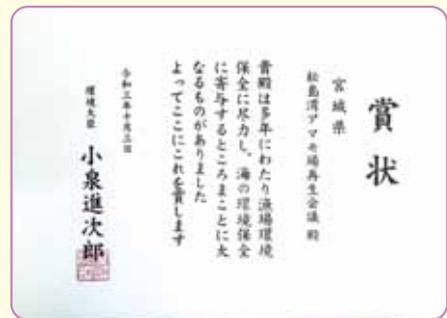
紙粘土への種貼付け作業

TOPIX

地元の環境団体が「環境大臣賞」を受賞しました

2021年10月3日、「塩竈セブンの海の森」活動で協働している松島湾アマモ場再生会議が「第40回全国豊かな海づくり大会」漁場・環境保全部門において「環境大臣賞」を受賞されました。

こちらは長年にわたり漁業環境保全に尽力し、海の環境保全に寄与したことが評価されたものです。



表彰状

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭には設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。

2021年度(令和3年度)義援金募金活動

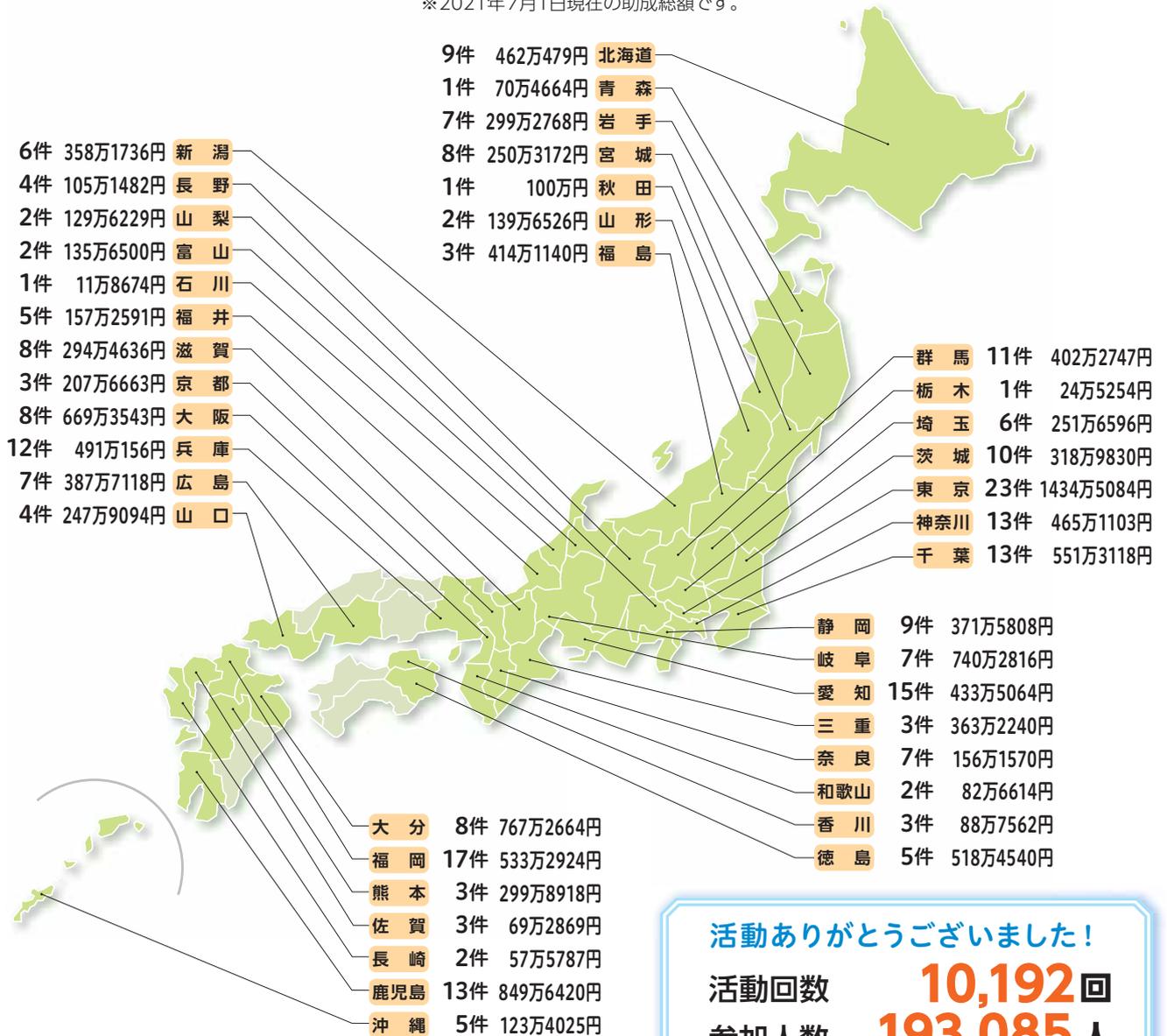
- 令和3年7月大雨被害に対する支援募金
793万2608円
(募金期間7/7~8/1 静岡県と神奈川県セブン-イレブン店舗)
- 令和3年8月大雨被害に対する支援募金
4068万8755円 (募金期間8/16~8/31全国)
- 合計 4862万1363円** 2022年2月末日現在

2021年度「環境市民活動助成」都道府県別助成総数と助成総額

※2019年度、2020年度、2021年度の継続助成を含みます。

助成総数 **272件** 助成総額 **1億3835万724円**

※2021年7月1日現在の助成総額です。

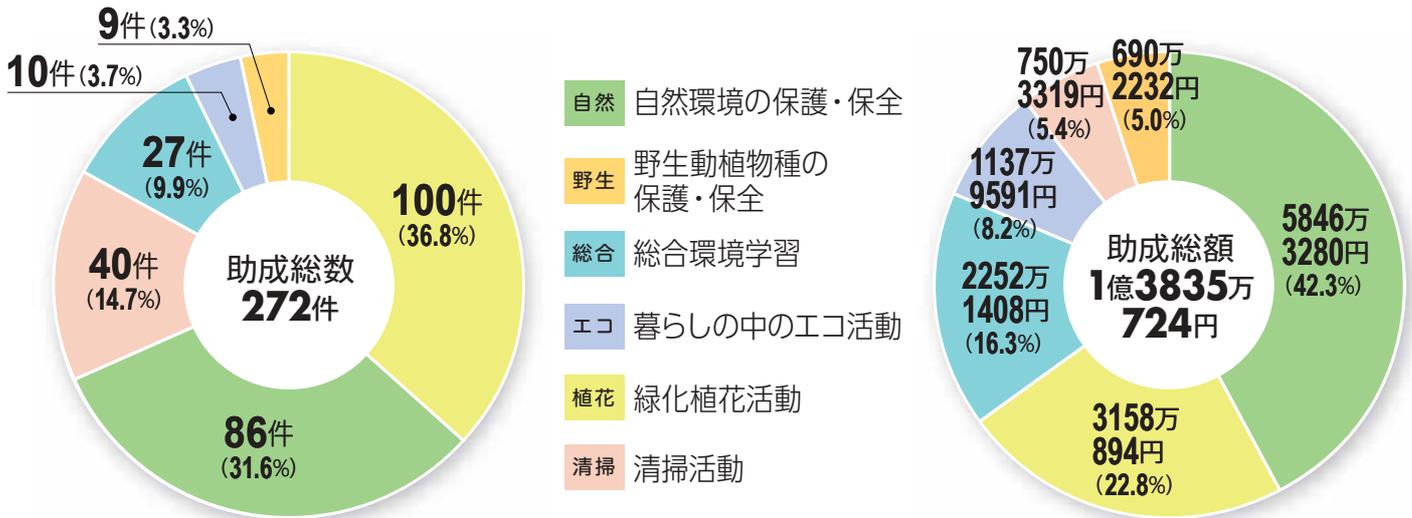


活動ありがとうございました!
 活動回数 **10,192回**
 参加人数 **193,085人**
 (2022年4月15日現在)

2021年度「環境市民活動助成」(複数年継続を含む)

助成の種類	応募		単年度の助成決定		複数年継続を含む助成決定	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
設立25周年記念 2019年度限定「山の森・ 海の森づくり」助成 (3年目)	—	—	—	—	23件	7,477,368円
活動助成	193件	133,817,625円	100件	58,144,874円	100件	58,144,874円
NPO基盤強化助成	24件	92,022,445円	6件	23,924,704円	9件	33,644,269円
花と緑の助成	105件	34,343,986円	100件	31,580,894円	100件	31,580,894円
清掃助成	47件	9,388,831円	40件	7,503,319円	40件	7,503,319円
合計	369件	269,572,887円	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円

2021年度「環境市民活動助成」活動分野別助成総数と助成総額



これまでの「環境市民活動助成」結果 (2001年度～2021年度)

助成総数 **4,350件** 助成総額 **25億6154万830円**

※助成決定時のものです。 ※現物支給の助成も含まれます。 ※助成総数と助成総額は、複数年継続して助成する団体を含みます。

年度	単年度の助成		年度の助成 (複数年継続を含む)	
	件数	金額	助成総数	助成総額
2021年度	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円
2020年度	242件	88,656,491円	269件	111,063,824円
2019年度	285件	119,253,140円	289件	133,402,934円
2018年度	264件	127,827,840円	271件	153,957,167円
2017年度	293件	133,815,020円	302件	167,417,785円
2016年度	294件	152,944,496円	304件	182,454,549円
2015年度	254件	142,276,318円	264件	169,311,877円
2014年度	253件	149,515,421円	268件	175,668,971円
2013年度	245件	129,028,445円	260件	155,948,445円
2012年度	131件	101,421,086円	139件	126,206,886円
2011年度	232件	145,726,773円	240件	158,980,713円
2010年度	210件	130,634,996円	224件	143,010,489円
2009年度	237件	121,235,814円	251件	134,927,614円
2008年度	180件	103,748,981円	191件	119,240,461円
2007年度	151件	90,045,085円	161件	103,382,710円
2006年度	101件	73,727,319円	112件	83,690,039円
2005年度	82件	57,400,089円	94件	72,330,059円
2004年度	113件	53,571,573円	119件	63,521,573円
2003年度	136件	71,395,401円	136件	71,395,401円
2002年度	96件	49,643,022円	96件	49,643,022円
2001年度	88件	47,635,587円	88件	47,635,587円
合計	4,133件	2,210,656,688円	4,350件	2,561,540,830円

2021年度（令和3年度）都道府県別助成先団体・活動内容一覧

※採択後の辞退含む

北海道

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
北海道	NPO法人 北海道市民環境ネットワーク	北海道の環境市民活動の支援を目的としたネットワークの構築（略称：きたネット）	基盤
北海道	根室ワイズユースの会	市民協働による清掃活動に取り組む	清掃
北海道	河川愛護団体 リバーネット21ながめま	小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり	緑化
北海道	標茶町花いっぱいコスモス推進会議	標茶駅前花壇と標茶町開発センター花壇への植花・管理	緑化
北海道	苫小牧市まちを緑にする会	市民の手で緑いっぱいのふるさとづくりを目的に植樹する。	緑化
北海道	利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会	花いっぱい運動（町内の植樹帯やプランターへの花の植栽）	緑化
北海道	厚岸町民の森造成実行委員会	町民の手によって広葉樹主体の植樹を行う	自然
北海道	ゆうち自然学校	稚内市上勇知地区における里山整備と子ども達の体験拠点づくり	自然
北海道	認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原を次世代に引き継ぐためのナショナルトラスト運動	自然
北海道	NPO法人 森のこだま	自然と人との共存を学び、地域を守り育てる豊かな心を育む	総合
北海道	秋桜「地域を花でかざろう会」	札幌市遊休地の花植えをやりたい人がやれる時にやれるだけの活動	緑化

東北

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
青森	NPO法人 白神山地を守る会	白神山地における種苗活動と植林	自然
岩手	立瀬川を愛する会	立瀬川等（のり面含む）の草刈り作業及びごみ拾いの清掃活動	清掃
岩手	大船渡市末崎町ラベンダー畑保存会	花の維持管理を行い市の観光資源の保持と製作材料の提供に資する	緑化
岩手	北浜老人クラブ	東日本大震災での出来事、感謝を後世に伝える「慰霊碑」周辺整備	緑化
岩手	橋野町振興協議会	世界文化遺産「橋野鉄鉱山」のまわりを花いっぱいにする活動	緑化
岩手	和村ソフトボールクラブ	当地域内の大船渡斎苑入口の花壇を年間を通して整備している	緑化
岩手	NPO法人 環境生態工学研究所	北上川の上流を結ぶ緑の再生活動	自然
岩手	NPO法人 遠野エコネット	間伐等の森林整備と持続可能な森・林業を再生させる事業	自然
宮城	雨水ネットワーク東北	雨水利活用の推進を目的とした天水桶手づくり講座の開催	エコ
宮城	一般社団法人 石巻海さくら	石巻・女川地域の海浜清掃	清掃
宮城	川原あじさいを愛する会	あじさいの植栽・管理活動と併せて行う沿線の清掃による環境保全	清掃
宮城	ごみゼロ岩沼	市内5ヶ所を6ヶ月に一回ずつ清掃活動する（年10回活動）	清掃
宮城	松島湾アマモ場再生会議	アマモの移植と市内唯一の海に触れる空間の環境づくりと清掃	復興
宮城	川原あじさいを愛する会	「あじさいロード」と「あじさいの丘」の植栽活動と維持管理活動	緑化
宮城	坂元グリーンサポートクラブ	震災移転地の新市街地公共緑地の緑化・環境整備活動	緑化
宮城	錦ヶ丘花と緑の会	錦ヶ丘の主要な花壇（3箇所）の花壇づくり（花植えと管理）	緑化
宮城	化女沼2000本桜の会	桜の植樹、整枝、植栽地の下草刈り、ダム湖周辺の環境美化活動	自然
宮城	NPO法人 しんりん	「森と人間が調和・共生する森づくり」事業と、持続可能な新しい林業の構築	自然
秋田	炭やきで夕日の松原まもり隊	市民による炭やきで先人の遺産「夕日の松原」を松枯れから守る	自然
山形	やまがたヤマネ研究会	飛島の絶滅危惧種の分布状況解明調査と調査技術者育成	野生
山形	マイ夢の花の里づくりクラブ	マイ夢の里に植花と緑化により環境の美化と心やすらぐ地域づくり	緑化
福島	NPO法人 ザ・ピープル	衣と食の無駄をなくす フード&クローリングバンク推進事業	エコ
福島	小名浜まちづくり市民会議	小名浜の本町通りを花苗で美化整備する	緑化
福島	日立木6号花壇ボランティア	日立木地区にある6号国道の花壇（8区画全長160m）の整備	緑化

関東

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
茨城	額田城跡保存会	額田城跡の保護・保存のための奉仕作業、文化財行政への協力	清掃
茨城	うしく菊花公園の会	菊公園を広く一般に公開し、菊の伝統文化の継承と発展に努める	緑化
茨城	小貝川・花とふれあいの輪	小貝川堤の荒地を花の公園に変える環境美化の実践と啓発活動	緑化
茨城	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ	市内県道沿い緑地帯における植栽管理活動（花の植替え作業）	緑化
茨城	塙山学区住みよいまちをつくる会	地域で展開する花いっぱい運動	緑化
茨城	もりや花のまちづくり	駅周辺道路や駅前広場の花壇植栽及び維持管理	緑化
茨城	NPO法人 こが里山を守る会	里山保全整備・市民・子どもも参加の体験活動（観察・保全整備）	自然
茨城	瓜連地区まちづくり委員会	古徳沼の自然保全と里山整備活動	自然
茨城	ふれあい筑波	森林と竹林と里山林の実践整備活動、民有林と公有林の継続活動	自然
茨城	竜ヶ井城山の会	竜ヶ井城跡地・百貫石登山道整備、関連施設の設置、山桜の植林	自然
茨城	ホタルネットワークmito	逆川緑地、水戸英宏茨城セブンの森ともに河畔林の再生と子供たちの環境学習会	自然
栃木	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	渡良瀬遊水池の湿地を保全するエコミュージアム化に向けて	自然
群馬	NPO法人 思いをつなぐ会	みんなの町をみんなできれいにしましょう	清掃
群馬	考案会	茶臼山城跡の篠下草枯れ木整理、小学校生徒・地域住民の城跡案内	清掃
群馬	NPO法人 ホワイトベル	お花のお散歩コースをきれいにしましょう	清掃
群馬	NPO法人 思いをつなぐ会	みんなの花いっぱいまちづくり	緑化
群馬	川場美しいマチ研究会	都市民と農村民の交流による、農村風景の修景を目指した植花活動	緑化
群馬	八寸の会	昔、自生していたアマドコロの植栽を殖蓮中学校の生徒と共に	緑化
群馬	NPO法人 ホワイトベル	世界かんがい施設遺産の景観と保護活動	緑化
群馬	NPO法人 ふるさと再生ネットワーク	地域資源を活用したグリーン・ツーリズムによる地域の活性化	自然
群馬	木木木林	地元有志によって荒廃していく森林を維持、保全、活用、発信する	自然
群馬	城山の緑と桜を守る会	団地に植樹した桜を守る為の草刈りと花壇整備のボランティア活動	自然
群馬	倉淵ヤマアジサイの会	過疎地域をきれいにし、元気にするために花植えをする	緑化
埼玉	東狭山ヶ丘美化協議会	西武池袋線狭山ヶ丘駅東口緑化地帯の花植え及び除草活動	緑化
埼玉	大谷川源流の会	大谷川源流域の自然環境の保全・創出	自然
埼玉	飯能木質バイオマスエネルギー協議会	里山森林資源（間伐材・林地残材）を活用した薪づくりで地域活性	自然
埼玉	NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ	市民の森保全整備活動と積極的有効活用推進による里山環境の維持	自然
埼玉	笹目川環境を守る会	笹目川環境保全活動に取り組み、まちづくりの推進に寄与する	自然
埼玉	美風の会	住宅地に隣接する調整池斜面の刈込・伐採・清掃・植栽の活動	清掃
千葉	NPO大須賀川河童会	大須賀川「花の運河」を目指し昔からの植物復活と清掃活動	清掃
千葉	新川千本桜の会	新川の両岸に植栽されている桜並木沿道の清掃活動実施	清掃
千葉	葉山公園をきれいにする会	葉山公園の『花でつなぐ多世代交流の輪、憩いの場づくり』	緑化
千葉	ひよしグリーンロード再生会	日吉台中央通り植樹樹の植栽及び植花活動	緑化
千葉	八千代花と緑の応援団	駅前広場を日本一のバラ園に京成バラ園までの遊歩道をバラ街道に	緑化
千葉	市原ルネッサンス	小湊鉄道線飯給駅を中心とした環境美化を行う里山活動	自然
千葉	ちば千年の森をつくる会	生物多様性保全を目指す超長期の森づくり	自然
千葉	NPO法人 ちば森づくりの会	都市近郊に位置する千葉市の里山を森林施業で保護・保全する活動	自然
千葉	NPO法人 緑の環・協議会	違法山砂採取により皆伐された森を元の水源涵養林に戻す活動	自然
千葉	山武に雑木林をつくる会	地元の山林を維持管理し機能を高め、小学生等に森林教育を行う	自然
千葉	豊富どんぐりの森	里山活動で森の再生・保全、稀少植物の多様性の保全を図る	自然
千葉	NPO法人 UMINARI	海洋ごみ問題解決のためのビーチクリーンイベント	自然
千葉	NPO法人 たてやま・海の鑑定団	館山市の沖ノ島を主なフィールドに海や森などの自然を知り守る活動	自然
千葉	しかはま自然観察会のらえもん	里山の魅力発見・都市と里山の双方向の価値を学ぶ・伝える	総合
東京	下北線路街園藝部	「植育」を通じた地域の風景作りとコミュニティの醸成	エコ

東 京	2.5 architects	東京都の埋立地・ゴミ問題についてWSを通じて学ぶ	エコ
東 京	DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海エイド	清掃
東 京	NPO法人 くにたち 農園の会	都市農地・里山環境を活用した野外放課後児童クラブモデル事業	総合
東 京	エンジョイハーブの会	公園で季節の花とハーブの花壇作り	緑化
東 京	唐木田コミュニティセンター運営協議会	「花いっぱい運動でつくる“絆”」と称する植花育成活動	緑化
東 京	北四国町会 芝のはらっぱ実行委員会	地域住民と共に緑と花を通じた地域交流拠点を作る過程を先導する	緑化
東 京	さーくる・ガーデン・クラブ	目黒区立中目黒公園での農薬、化学肥料を使わない花壇づくり	緑化
東 京	NPO法人 渋谷さくら育樹の会	渋谷さくら通り植栽推進活動（フラワーロードプロジェクト）	緑化
東 京	豊洲シーサイドガーデン	花壇を四季の花で彩り豊洲公園を癒しの場所にする	緑化
東 京	とよす4丁目花だんの会	豊洲4丁目公園と都道の植栽帯に花と緑を植える	緑化
東 京	南泉公園グリーンクラブ	目黒区元競馬南泉公園での緑化活動を通じた安心安全なまちづくり	緑化
東 京	パークシティ豊洲園芸クラブ	晴海通り沿いの桜並木に花壇を作り、周辺住民や子供たちと交流	緑化
東 京	聖ヶ丘子どもおとしより見守り実行委員会	地域の子どもと独居老人（80才以上）の見守りと公園の美化活動	緑化
東 京	枯れ沢復活&ホタルを飛ばす会	森林の土中環境改善をして枯れた沢を復活させ、ホタルを呼び戻す	自然
東 京	お日の森くらぶ	ボランティアによる美しい雑木林と里山を復元し次世代に残す活動	自然
東 京	葛西東渚・鳥類園友の会	葛西臨海公園内の植生保護活動の推進	自然
東 京	NPO法人 銀座ミツバチプロジェクト	持続可能な循環型社会・地域共生の構築	自然
東 京	東京湾再生官民連携フォーラム	東京湾再生のための「江戸前」の再興、生き物生息場の再生、「東京湾大感謝祭」の開催	自然
東 京	NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会	海あそび安全講座の指導者養成、安全講座ハンドブック印刷・配布	総合
東 京	NPO法人 多摩川塾	多摩川流域の小学校教師を主対象とした環境学習の指導と教材開発	総合
東 京	つくし野ビオトーププロジェクト	大都市近郊住宅地で子供と保護者のための総合的・体験的環境学習	総合
東 京	なでしこの会	道路に花を植え手入れする人も見る人も同じ気持ちで楽しむ街作り	緑化
東 京	明神町クラブ	八王子市の東玄関口の東放射線アイロード街路樹植込を花で飾ろう	緑化
神 奈 川	NPO法人 湘南クリーンエイドフォーラム	ごみを拾いながら種類ごとに数を数える「調べるビーチクリーン」	清掃
神 奈 川	NPO法人 湘南ビジョン研究所	ブルーフラッグの普及推進・海の環境体験学習に特化した市民大学	総合
神 奈 川	水仙の会	水仙ロードづくり（水仙の植え付け）	緑化
神 奈 川	南足柄市姉妹都市交流協会	市内地域公民館の花壇に、毎年チューリップ球根を植栽している	緑化
神 奈 川	北鎌倉湧水ネットワーク	六国見山の里山再生活動	自然
神 奈 川	景観まちづくり研究会・葉山	都市公園 南郷上ノ山公園内 斜面緑地の保全・整備活動	自然
神 奈 川	かながわふおれ☆'s	手入れ不足の人工林を整備し、良好な水環境を育む森林へ導く	自然
神 奈 川	谷戸川溪谷をきれいにする会	谷戸川エリアの河川、町道およびその周辺の環境整備と紹介	自然
神 奈 川	NPO法人 愛夢	再生、「海と緑と銀鱗」活動	自然
神 奈 川	NPO法人 相模原こもれび	相模原木もれびの森73haのうち、14haで保全活動。	自然
神 奈 川	NPO法人 海の森・山の森事務局	海の素晴らしさを知って、海洋プラスチック撲滅大作戦！	自然
神 奈 川	認定NPO法人 神奈川海難救助隊	東京湾全海域浮遊ごみゼロ作戦2021	自然
神 奈 川	NPO法人 緑のダム北相模	FSC（森林管理協議会）の精神に沿い、新しい森林創生事業を創出する事業を支援	自然
神 奈 川	横浜メダカの会	横浜固有の黒メダカの保存、子供たちへの啓発、ビオトープづくり	野生

北信越

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
新 潟	1% for Kashiwazaki	イベント型海岸清掃によるプラスチックと環境問題の啓発活動	エコ
新 潟	塩谷分校	集落入口の県道の脇、約400mに花の苗を植える	緑化
新 潟	青山保安林まもり隊	新潟市西区青山地内5.36haの防風松林における雑木伐採草刈	自然
新 潟	ECO village SHELTER project	昔ながらの暮らしを实践！古民家の森再生プロジェクト	総合
新 潟	神奈川トンボ調査・保全ネットワーク	希少な動植物の宝庫「新沼」を次世代に伝え守るための活動	野生
新 潟	NPO法人 UNE	みんなと一緒に花と野菜を育て新しいコミュニティづくり	緑化

富山	一般社団法人 金山里山の会	荒廃しているコナラ林の里山の整備を行って里山を蘇らせる	自然
富山	戸破地域振興会	ふるさと母なる下条川の土手に水仙の植栽	緑化
石川	千路老人クラブ	環境美化と地域住民の安らぎの場づくり、老人の活動の一環	緑化
福井	NPO法人 マレーシア国際交流協会	留学生と住民による越前海岸「呼鳥門」近辺清掃活動	清掃
福井	NPO法人 まちづくりのむきの会	のむきコスモスマつり事業 休耕田にコスモスを栽培、祭を実施	緑化
福井	NPO法人 里豊夢わかさ	里地里山の自然から学び・自然とともにある体験活動	総合
福井	にじいろずっく	子どもから大人まで、里山の魅力ある暮らしから学ぶ環境教育活動	総合
福井	あわら市エコ市民会議	わたしのグリーンカーテンからみんなの地球へ	緑化
山梨	NPO法人 自然とオオムラサキに親しむ会	オオムラサキの棲める里山林再生と保全	自然
山梨	認定NPO法人 富士山クラブ	富士山地域での総合的な環境活動	自然
山梨	NPO法人 黒平自然の森学校	将来に残したい「自然・環境・人」のつながり	総合
長野	沖一班有志会	国道152号線沿い緑地帯・歩道の草刈り・剪定・清掃	清掃
長野	花仲間	町にある5カ所の花壇の花植えならびに管理作業	緑化
長野	NPO法人 エコラ倶楽部	森林の整備及び環境保全活動の普及・啓発活動	自然
長野	上横道自治会	県道傍陽～菅平線1800m他の草刈りと清掃	清掃

中部・東海

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
岐阜	NPO法人 羽島環境の会	生ゴミ堆肥を軸に、循環生活の良さ・必要性を実感できる体験	エコ
岐阜	NPO法人 泉京・垂井	SDGsと地域をつなぐ「非営利コンサルタント事業」基盤強化	エコ
岐阜	いびNPO法人連絡協議会	揖斐川流域で5月最終土曜日に一斉清掃と水質検査、鮎などの放流	清掃
岐阜	いのちもり	荒れた植林山を整備し、人と自然との関係改善を目指す	自然
岐阜	NPO法人 竹林救援隊	荒廃竹林を整備しながら市民家族に環境認識を持っていただく	自然
岐阜	NPO法人 いびがわミズみずエコステーション	小学生以下の親子対象環境塾と環境イベント・アースデイいびがわ	総合
岐阜	NPO法人 長良川自然学校	川の学校(子供たちが自分たちで考え行動する長良川での自然体験)	総合
静岡	一般社団法人 里の家	浜名湖の里海体験と食育体験、海の安全教室	総合
静岡	静岡・海辺づくりの会	花壇整備と清掃活動、自然観察会で地域環境を保全する	緑化
静岡	NPO法人 樹木いきいきプロジェクト	在来種イソギク植栽による防草緑化効果を活かした街景観づくり	緑化
静岡	二ツ池櫻と蓮の保勝会	二ツ池周辺区域の樹木等と蓮の管理	自然
静岡	NPO法人 海プラスSOU	「里海の再生」として、アマモ場やガラモ場等の再生・保護活動	自然
静岡	NPO法人 時ノ寿の森クラブ	withコロナ社会の中で森林と共に暮らす新たな生活様式を促進	自然
静岡	NPO法人 海辺を考えるしおさい21	北限のサンゴ群集再生と恒久的な維持を目指す市民参加型保全活動	自然
静岡	NPO法人 自然と共生を考える会	草刈り、ゴミ拾い	清掃
静岡	NPO法人 浜松市東区の自然と文化を残そう会	ビオトープの環境保全活動、俳人松島十湖及び自然体験学習の実施	野生
愛知	NPO法人 地域の未来・支援センター	東海3県の環境市民活動の支援を目的としたネットワーク構築活動	基盤
愛知	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	土岐川・庄内川、新川、日光川河口と藤前干潟一帯の清掃活動	清掃
愛知	山口地域まちづくり協議会	ゴミ拾い活動、カーブミラー清掃	清掃
愛知	やろまいか!愛・地クリーン作戦実行委員会	2005年愛知万博開催地での市民参加による清掃活動の継続実施	清掃
愛知	とよた自然わくわくクラブ	体験学習を通して自然を知り、すきになってもらう活動	総合
愛知	NPO法人 心豊かにARDの会	維摩池正面玄関の花壇に四季折々の花を咲かせよう!	緑化
愛知	大口町北地域自治組織	大口町内4カ所で春・秋の2回地域の方々とは花植え活動を行う	緑化
愛知	片平学区連絡協議会	地域のコミュニティを育む花・緑の街へ	緑化
愛知	がまごおり花フル会	自然に恵まれた蒲郡を市民の力で魅力ある美しいまちにする。	緑化
愛知	長根花の友の会	花作りを通じて絆を深め楽しく住みよい美しい街づくりを行う	緑化
愛知	間伐こもれび会	間伐材アイテムの開発・展開による、森林保全活動の重要性の啓発	自然
愛知	愛竹林部(愛知クリーン部)	竹林の整備清掃、竹炭作り、竹炭による土壌改良、啓発活動	自然

愛知	NPO法人 高蔵寺どんぐりs	夢が広がる高蔵寺ニュータウン高森山の里山づくり	自然
愛知	OMOTEHAMAおかん	地元の人達主体の表浜海岸のゴミ拾い活動	清掃
愛知	環境ボランティアサークル亀の子隊	きれいな海を守る心を広げるためのプロジェクト	総合
愛知	小幡緑地公園サンサン会	小幡緑地西園内の花壇7ヵ所の花の管理、植替、除草、清掃、灌水	緑化
三重	よろやん会	市、所有の公園(円吉公園)の植花・除草・樹木剪定・清掃作業	緑化
三重	NPO法人 SEA藻	藻場再生を目的とした磯焼け要因生物(ウニ類)の駆除活動	自然
三重	NPO法人 もりずむ	「森をつくる・いかす・つなぐ」事業と付加価値を高めた木材による持続可能な林業の確立	自然
三重	NPO法人 大杉谷自然学校	野外体験保育の推進	総合

近畿

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
滋賀	白鳥川の景観を良くする会	白鳥川の桜並木整備で、市民憩いの散策路作りと環境学習支援	清掃
滋賀	葉山川環境美化推進委員会	葉山川堤防の環境保全活動に取り組みます	清掃
滋賀	伊吹山ネイチャーネットワーク	伊吹山初の絶滅危惧植物図鑑作成と発刊	野生
滋賀	NPO法人 瀬田川リバプレ隊	瀬田川活動地区、支流高橋川河川敷、河川敷公園の清掃活動、花壇	緑化
滋賀	野田町まちづくり委員会	植花活動でポイ捨て防止・農村景観保全と三世代交流の絆づくり	緑化
滋賀	NPO法人 花と観音の里	花と緑いっぱいまちなかよし花壇活動	緑化
滋賀	やす緑のひろば	野洲川河辺の森を、自然豊かな憩いの森に整備、次世代に引き継ぐ	自然
滋賀	淡海を守る釣り人の会	釣り人が主体となって行う流域の方との琵琶湖清掃活動	自然
滋賀	滋賀大学「環境学習支援士」会	未来のびわ湖人育成の環境学習、山・里・湖をつなぐ川の自然体験	総合
京都	NPO法人 加茂女	放置竹林から出てきたワサビ畑を復活させ里山再生での賑わい作り	自然
京都	NPO法人 こそだてママnet☆	子育てママ等の支援を、子どもたちの自然体験活動を通じて実施	自然
京都	藪の傍	放置竹林の拡大を活用で阻止するシステムづくり	自然
大阪	NPO法人 近畿環境市民活動相互支援センター	近畿2府4県の環境活動の支援を目的としたネットワークの構築活動(通称:エコネット近畿)	基盤
大阪	NPO法人 長池オアシス	四季折々の花が咲く長池オアシス公園を地域で維持管理しよう	清掃
大阪	すみれ・花フレンズ	緑化植花活動でSDGs11の住み続けられるまちづくりを	緑化
大阪	桃園連合振興会	花を通じて潤いのある、人と人とのふれあい笑顔づくりの町	緑化
大阪	NPO法人 ナック	荒廃が進む里山林の再生と竹林整備及び利活用促進プロジェクト	自然
大阪	みさき里山クラブ	子育ての森へ 子育て世代とシニアが取り組む里山の保全と活用	自然
大阪	チーム☆ガサ	大阪湾でのガサを通じて自然の重要性・魅力を普及啓発する	自然
大阪	NPO法人 里山倶楽部	里山ボランティアの活動推進および里山の生き物調査	自然
大阪	NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター	漁業と福祉との連携(漁福連携)による地域自然・文化の継承	自然
兵庫	うやま花の会	洲本市の美化推進活動(街路樹周辺などの清掃と雑草抜き)	清掃
兵庫	うやま花の会	淡路島に緑と花いっぱいの美しい街並みを作る活動	緑化
兵庫	NPO法人 奥播磨夢倶楽部	奥播磨「森の再生とCO ₂ 削減」モデル地域づくりプロジェクト	自然
兵庫	NPO法人 里野山家	地域の課題である里地里山の再生活動と人々の交流の場づくり	自然
兵庫	ひょうご自然教室	5歳児とその保護者を対象にして、五感で春の自然を体験する	自然
兵庫	NPO法人 おえんくらぶ	うみがめが産卵に戻ってくる豊かな海を取り戻そう	自然
兵庫	NPO法人 神戸海さくら	スマイルビーチプロジェクトによる須磨海岸マナーアップ活動	自然
兵庫	NPO法人 チーム御前浜・香櫛園浜里浜づくり	御前浜をみんなの宝“里浜”として、守り、使い、そだてる	自然
兵庫	神戸・心絆	一般市民とゴミを拾いながら各コースを回る活動	清掃
兵庫	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	親子が集い、学べ、次世代に繋げる河川での体験型環境学習	総合
兵庫	森林ボランティア 菊炭友の会	小学生の「自然体験学習」と市民対象の「炭焼き・里山体験会」	総合
兵庫	一般社団法人 ブナを植える会	豊かな自然の復元を願ってブナ林の育成と環境学習に励んでいます	総合
奈良	NPO法人 市民省エネ・節電所ネットワーク	市民と省エネ・節電、CO ₂ 排出実質ゼロを目指す活動の推進	エコ

奈良	富雄中学校区地域教育協議会	通学路に地域住民と生徒が花を植え、ふるさとを愛する心を育てる	緑化
奈良	NPO法人 山野草の里づくりの会	里山林の整備、農地の復旧等の活動により里山の自然と環境を守る	自然
奈良	やまと郡山環境を良くする市民の会	清掃活動・古道七曲道整備・緑豊かな街づくり	自然
奈良	クリーンリバー飛鳥	飛鳥川の地黄橋から春日橋までの土手の草刈(周辺)とゴミの清掃	清掃
奈良	NPO法人 響く美しい明日香の会	飛鳥川及びその周辺清掃、川沿いの遊歩道と木々の手入れ	清掃
奈良	エコネットいこま	自然観察会を通して地域の生物多様性保全を考える機会を提供する	総合
和歌山	はしもと里山学校	子どもたちに伝えたいことがある。残したいものがある	総合
和歌山	NPO法人 花つぼみ	花でおもてなし! 並木花壇を花でいっぱい!	緑化

中国・四国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
広島	プロジェクト・チーム: ベイシティグリーンロード	都市計画道路中広宇品線の歩道の清掃と植樹の除草と植花活動	緑化
広島	NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima	①森林整備事業 ②間伐材等の有効利用 ③地域貢献協働プロジェクト	自然
広島	木の駅八千代実行委員会	植林した杉・桧の間伐を行い、山に光を当て災害に強い里山再生	自然
広島	竹の駅 あきたかた	いまこそ「竹」と「炭」で、持続可能な農業や畜産を!	自然
広島	今津学区明るいまちづくり委員会	本郷川環境美化活動を通して、ふるさと今津への愛着心を育む	清掃
広島	芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会	芦田川水系の各主体連携による希少種スイゲンゼニタナゴの保全	野生
広島	花ネットワーク・BINGO	花と緑の助成。花や緑を育てながら老若男女の親睦をふかめる	緑化
山口	森となかよし研究所	ツリークライミング体験を通じ森を楽しみ、森を育む心を育てる	自然
山口	砂子多川清流会	ゲンジボタルの飛翔数とカワニナの分布について調べる	自然
山口	竹林ボランティア俵山	竹林を整備して、地元小学校を対象にした竹林体験学習を実施する	総合
山口	上関の自然を守る会	上関海域での海上センサスによるカンムリウミスズメ、コウモリ類	野生
徳島	NPO法人 新町川を守る会	市内中心部の幹線道路及び公園の緑樹帯や花壇に花を植える	緑化
徳島	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク	ヒマワリ祭り・友好コスモス祭り・花街道づくり	緑化
徳島	NPO法人 吉野川に生きる会	休耕地や荒れ地にバイオ桐を植え脱炭素社会の実現	自然
徳島	NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク	里山を利用し、作業や遊びを通して環境学習を親子で体験する	総合
徳島	江川奉仕橋かもクラブ	江川ゆうねんの洲河川敷公園癒しの花園とクールスポットづくり	緑化
香川	いいまちづくり観音寺輝き隊	毎月1回の公園清掃と池の水草の繁殖時期は毎日池の清掃をする	清掃
香川	大野地区衛生組合協議会	ため池堤防へ水仙、公共施設への花苗植栽による緑化を推進する	緑化
香川	NPO法人 みんなでつくる自然史博物館・香川	花粉の運び手である蜂の保全と、海浜植物(虫媒花)の保全	自然
高知	四万十つるの里づくりの会	四万十川に飛来するツルの越冬地づくり	自然

九州・沖縄

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
福岡	NPO法人 フードバンク福岡	地域を底支えするフードバンク基盤整備事業	エコ
福岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会	本会が遠賀川流域住民及び北九市民等に呼びかけ、海岸清掃を行う	清掃
福岡	津古ふるさと会	津古地域、宝珠川流域の環境美化活動	清掃
福岡	梅光園2丁目町内会	町内会及び子ども会によって町内にあるパンダ公園の清掃活動実施	清掃
福岡	東中間3丁目 友の会	地域の公園周辺や地域の環境美化整備	清掃
福岡	大濠公園ガーデニングクラブ	県庁所在地福岡市の中心にある公園内の約200平米の花壇の維持	緑化
福岡	白糸あじさいの会	糸島市の景勝地、白糸の滝周辺にあじさいを植樹し守り増やす	緑化
福岡	ちくしまちレンジャー	街路等の草刈りや花植えを行い、地域の景観を守る	緑化
福岡	筑紫南コミュニティ運営協議会	地域の公民館と小学校が連携して花いっぱい運動を展開します	緑化
福岡	津古ふるさと会	自然及び環境維持。当地域に花と緑を育てる	緑化
福岡	Pine tree garden	松崎駅前の花壇を整備し、町の顔として明るい景観づくりを行う	緑化
福岡	NPO法人 はかた夢松原の会	国道202号の国体道路においてプランターや植栽帯に花植を実施	緑化

福岡	東中間3丁目友の会	地域の公園内の環境整備・花壇の育成	緑化
福岡	ひまわり会	種蒔から鉢上げ定植及び管理を地域有志の協力で実施している	緑化
福岡	舞鶴公園フラワーボランティア	福岡市舞鶴公園内の花壇にお花と花木を植えて、美化清掃活動	緑化
福岡	前原フラワーベルトの会	前原駅前周辺に花を咲かせ市民や観光客に心の安らぎ提供する	緑化
福岡	ちとせコスモス街道	210号線バイパス沿い約4kmにコスモス植栽及び景観保持活動	緑化
佐賀	NPO法人 つなぎレンガ座	緑化植花活動を通じ、地域の課題を探り、住む人達で解決していく	緑化
佐賀	笑うて暮らそうやっ会	町中を花で飾る活動	緑化
佐賀	NPO法人 かいるう基山	森林を侵食する孟宗竹を伐採処理して、里山の保全を図る環境保全活動	自然
佐賀	若楠下高木自治会	河川の水草除去及びごみ拾い清掃、河川沿い草取りを毎月実施	清掃
長崎	茂木地区あじさいの会	茂木街道をあじさいでいっぱいにする地域活性化活動	緑化
長崎	佐ノ原川クラブ	景観造りの活動・環境保全活動	自然
熊本	NPO法人 九州バイオマスフォーラム	森林資源(木質バイオマス)の活用による災害に強い森づくり	自然
熊本	次世代のためにがんばる会	地元の自然環境・干潟保全を引き継ぐための青少年育成活動	総合
熊本	認定NPO法人 阿蘇花野協会	阿蘇の草原生態系を再生・保全し、阿蘇の野の花を未来に引き継ぐ	野生
大分	エコブルー実行委員会	エコイベントの開催とビーチクリーンで廃プラを拾い再生を行う	エコ
大分	NPO法人 岡原花咲かそう会	規模を拡大し観賞者を魅了する『花公園づくり』を目指して	緑化
大分	千部もみじ村	地域の小学生の森林学習の場と地域住民の憩いの場作り	自然
大分	妙音山を守る会	妙音山森林自然公園の復元と維持管理、周辺侵入竹林の駆除	自然
大分	亀川の自然を守る会	蛍や様々な生物を守り、自然と共生した地域社会の構築を図る	自然
大分	NPO法人 笑顔	里山自然を生かして野草薬草の再生と廃校整備による野草事業の創設	自然
大分	NPO法人 おおいた環境保全フォーラム	ウミガメ種保全のための海洋プラスチック影響評価と削減啓発活動	野生
大分	南野津地域振興協議会「寺子屋ん会」	植花活動により地域環境美化運動向上・地域活性化につなげる	緑化
鹿児島	ボランティア団体 望	綺麗な町を作り地域の人と交流を育む清掃活動	清掃
鹿児島	NPO法人 もりびと	清掃で気づく住民主導のまちづくり	清掃
鹿児島	NPO法人 喜界島サンゴ礁科学研究所	サンゴ礁総合科学を通じた次世代国際リーダー育成拠点の形成	総合
鹿児島	NPO法人 らんらんらん	地域を明るくする植花活動パート4	緑化
鹿児島	NPO法人 愛らんどマルシェ	鹿児島市内の県道と家庭の道路に面したスペースの緑化植花活動	緑化
鹿児島	NPO法人 鹿児島ボランティアバンク	思いやり花壇再生活動	緑化
鹿児島	田代未来プロジェクト	小学校跡地を中心にした地域の環境整備事業を地域住民で行う	緑化
鹿児島	NPO法人 NPOエキスパートバンク	植花による花壇と心の再生活動	緑化
鹿児島	NPO法人 ひばり倶楽部	母子家庭等の社会貢献植花活動	緑化
鹿児島	ボランティア団体 望	社会奉仕活動で花のある綺麗な街づくり	緑化
鹿児島	NPO法人 もりびと	世代を超えたコミュニケーション植花活動	緑化
鹿児島	与論うんぱる地域協議会	船倉墓地周辺の景観形成とゆいまーる	緑化
鹿児島	NPO法人 与論島ウナル学校	サンゴ礁の内海(イノー)における海草・藻場再生活動	自然
沖縄	みどり町一・二丁目自治会	子供達の通学路を花いっぱいにし安心・安全な街作り活動	緑化
沖縄	NPO法人 おきなわ環境クラブ	沖縄本島と宮古島で平地と川辺と海の森づくり活動	自然
沖縄	西表在来植物の植栽で地域振興を進める会	外来植物を駆除して海岸原風景を回復し、憩いと学習の場とする	自然
沖縄	兼箇段御願林蘇生会	森林の持つ窒素固定機能を支援する活動の周知	自然
沖縄	沖縄市クリーン指導員連絡協議会	地域と一体となり、環境美化の促進に寄与する清掃活動を行う	清掃

全国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
全国	NPO法人 海辺づくり研究会	日本全国における環境保全活動及び環境の保全に関する推進活動を行っている	自然
	一般社団法人 日本環境NPOネットワーク	環境NPOリーダー海外研修の研修生が設立した全国規模のネットワーク組織の運営を支援	リーダー

2021年度(令和3年度)

活動報告



2021年		
3月	12日	「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定書」締結式開催
	15日	2020年度店頭募金総額ポスター加盟店掲示開始(3/15～3/31)
	24日	「館山セブンの海の森」環境保全活動協定締結式開催
	26日	第3回「相馬セブンの森」 4名参加 下刈り・看板撤去
	27日	第5回「東松島セブンの森」 12名参加 葛の除去・下刈り・看板撤去
4月	3日	第11回「佐賀セブンの森」 25名参加 竹林整備・下刈り・竹の子刈り
	10日	第16回「広島セブンの森」 71名参加 植樹200本・下刈り・看板移設作業
	24日	第3回「山梨セブンの森」 48名参加 山道整備
5月	23日	第1回「館山セブンの海の森」 116名参加 山道づくり・マウンドづくり・タブノキ苗の移植50本・海岸清掃活動
	30日	第2回「塩竈セブンの海の森」 37名参加 アマモ場の生きもの観察・花枝採取・花枝植付
6月	5日	第6回「長野セブンの森」 32名参加 ヤマザクラの植樹30本・下刈り
	12日	第14回「東京湾 UMIプロジェクト」 21名参加 アマモの花枝採集・アマモ場の生きもの観察
	17日	「大分セブンの森」整備・保全に関する協定締結式開催
	26日	第7回「茨城セブンの森」 55名参加 湿地整備(下刈り)・観察道づくり・ホテル観察小屋設置
	26日	第6回「阪南セブンの海の森」 31名参加 海岸清掃活動・アマモ花枝採取・アマモ場の生き物観察
7月	1日	第4回「福井セブンの森」 8名参加 下刈り
	4日	第4回「滋賀セブンの森」 62名参加 湖岸清掃活動・小さな自然再生活動
	10日	第3回「霧多布セブンの森」 12名参加 下刈り・外来種駆除
9月	4日	2021年度助成金合同セミナー オンライン開催 147名参加
	11日	第16回「宮城セブンの森」 23名参加 ミズキの補植50本・下刈り
	18日	第7回「阪南セブンの海の森」 25名参加 海岸清掃活動・アマモ花枝採取・アマモ場の生き物観察
	20日	2022年度環境市民活動助成受付開始 「地域美化助成」9/20～10/10 「活動助成」「NPO基盤強化助成」10/11～10/31

2021年		
9月	20日	(公財)ボーイスカウト日本連盟の社会貢献活動「スカウトの日」に協賛。全国で10,870人が参加
	26日	第1回「大分セブンの森」 19名参加 輪地切り・野焼き文化の勉強会・看板設置
10月	9日	「青森セブンの海の森」環境保全活動協定締結式開催
	10日	第1回「青森セブンの海の森」 48名参加 海岸清掃・生きもの観察・アマモ種子採取・アマモ種子播種
	16日	第8回「茨城セブンの森」 49名参加 ビオトープ整備、観察道づくり
	16日	第9回「東京湾再生官民連携フォーラム通常総会」 オンライン開催を支援
	23日	第7回「長野セブンの森」 41名参加 コブシ、ナナカマド、ヤマボウシ全300本の植樹・支柱設置
	24日	第3回「塩竈セブンの海の森」 40名参加 アマモの種子採取・選別・播種
	30日	富士山保全活動 207名参加 東田子の浦海岸の清掃活動
30・31日	第16回「森のようちえん全国交流フォーラム in 奈良」に協賛	
11月	2日	第5回「福井セブンの森」 9名参加 植樹24本・下刈り
	6日	第4回「山梨セブンの森」 33名参加 山道及び植樹予定場所の整備
	13日	第8回「三重セブンの森」 74名参加 苗木保護材撤去・散策道整備 (土橋づくり、砂利敷き)
	20日	第27回「高尾セブンの森」 60名参加 沢地周辺の笹刈り・散策路階段作り
	21日	第5回「滋賀セブンの森」 200名参加 湖岸清掃活動・小さな自然再生活動・琵琶湖の自然再生研修会
27日	第17回「広島セブンの森」 81名参加 植樹400本、看板移設作業	
12月	2日	第28回「高尾セブンの森」 20名参加 沢地周辺の笹刈り
2022年		
1月	8・9日	第13回「全国アマモサミット・海辺の自然再生・高校生サミットin青森」に協賛
	2月	6日
2月	15日	第12回「脱炭素チャレンジカップ」ハイブリット開催に共催

※2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催や参加人数を制限して活動を実施しました。

2021年度(令和3年度)貸借対照表

2022年(令和4年)2月28日現在

(単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	1,711,146,650
(2) 未収金	118,566
(3) 貯蔵品	13,520
流動資産合計	1,711,278,736
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
譲渡性預金	300,000,000
基本財産合計	300,000,000
(2) 特定資産	
土地	11,453,975
特定資産合計	11,453,975
(3) その他固定資産	
建物	5,383,406
建物附属設備	7,575,596
構築物	220,084
機械装置	2,289,776
車両	1,097,996
什器備品	145,407
土地	26,991,164
ソフトウェア	3,783,450
リサイクル預託金	29,650
その他固定資産合計	47,516,529
固定資産合計	358,970,504
資産合計	2,070,249,240
II 負債の部	
1. 流動負債	
(1) 未払金	44,000
(2) 所得税預り金	108,360
(3) 社会保険預り金	404,949
(4) 雇用保険預り金	108,803
(5) 賞与引当金	3,300,000
流動負債合計	3,966,112
負債合計	3,966,112
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	11,288,339
(うち特定資産への充当額)	(11,288,339)
2. 一般正味財産	2,054,994,789
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(165,636)
正味財産合計	2,066,283,128
負債及び正味財産合計	2,070,249,240

2021年度(令和3年度) 正味財産増減計算書

2021年(令和3年)3月1日から
2022年(令和4年)2月28日まで

(単位:円)

科目	金額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
募金収益	
店頭募金収入	436,809,753
その他の募金	10,386,780
募金収入合計	447,196,533
寄付金収益	
セブン-イレブン本部寄付金収入	133,077,680
その他寄付金収入	15,072,449
寄付金収入合計	148,150,129
その他の収益	
前年度助成残余金返還額	18,322,975
東京事務局事業収入	30,000
九重ふるさと自然学校事業収入	686,948
高尾の森自然学校事業収入	622,607
受取利息	45,573
その他	10,569
その他の収益合計	19,718,672
経常収益計	615,065,334
(2) 経常費用	
事業費	
公募助成事業費	137,100,461
地域活動支援事業費	30,933,599
自然環境保護・保全事業費	43,054,855
災害復興支援事業費	1,896,876
広報事業費	53,548,261
事業費合計	266,534,052
管理費	
給与手当	60,256,216
法定福利費	11,172,232
退職給付費用	3,285,531
旅費交通費	4,023,833
ボランティア活動支援費	332,579
理事会関係費	1,687,977
募金箱関連備品制作費	754,600
その他	5,345,261
減価償却費	18,262,121
賞与引当金繰入額	7,200,000
管理費合計	112,320,350
経常費用計	378,854,402
当期経常増減額	236,210,932
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
固定資産売却益	44,429
経常外収益計	44,429
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	1
経常外費用計	1
当期経常外増減額	44,428
当期一般正味財産増減額	236,255,360
一般正味財産期首残高	1,818,739,429
一般正味財産期末残高	2,054,994,789
II 指定正味財産増減の部	
土地受贈益	224,696
当期指定正味財産増減額	224,696
指定正味財産期首残高	11,063,643
指定正味財産期末残高	11,288,339
III 正味財産期末残高	2,066,283,128

概要

- 名称** ● 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 理事長** ● 山本憲司(セブン-イレブン豊洲店オーナー)
- 事業目的** ● 環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
- 事業内容** ● 環境市民活動支援事業／自然環境保護・保全事業／災害復興支援事業／広報事業
- 事業資金** ● お店に寄せられた募金と
(株)セブン-イレブン・ジャパンなどからの寄付金 他
- 設立日** ● 1993年(平成5年)11月20日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 事業開始日** ● 1994年(平成6年)3月1日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 財団設立日** ● 2010年(平成22年)3月1日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513
<https://www.7midori.org>



本誌は森林保全活動に配慮したFSC®認証紙を使用しています。



本誌は環境に配慮した植物油インキを使用しています。